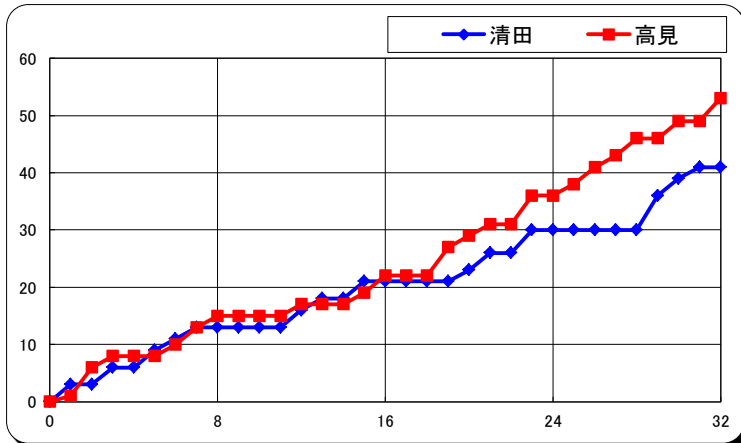




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援 平成24年度全国中学校体育大会 第42回全国中学校バスケットボール大会											
会場	さいたま市記念総合体育館											
日時	平成24年8月23日(木) 10:50											
コート	Cコート 第2試合											
カテゴリー	女子 決勝トーナメント											
主審	二宮 隆二 (茨城県)											
副審	五十嵐 清隆 (福島県)											
Team A		Team B										
清田 (北海道)	41	53 高見 (福岡県)										
	<table border="1"> <tr><td>13 1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>8 2nd</td><td>7</td></tr> <tr><td>9 3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>11 4th</td><td>17</td></tr> <tr><td colspan="2">OT</td></tr> </table>	13 1st	15	8 2nd	7	9 3rd	14	11 4th	17	OT		
13 1st	15											
8 2nd	7											
9 3rd	14											
11 4th	17											
OT												

【BOXスコア】

Team A	清田						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	田中 百華	×	5	1	1	0	2
5	バレット ニッキ	/	0	0	0	0	0
6	竹内 舞花	DNP	0	0	0	0	0
7	延足 紗奈	×	0	0	0	0	1
8	川田 怜奈	DNP	0	0	0	0	0
9	池田 玲奈	×	9	3	0	0	3
10	平野 亜実	×	9	2	0	3	5
11	三浦 由貴	/	10	2	2	0	2
12	吉田 佑莉亜	DNP	0	0	0	0	0
13	船水 麻琴	DNP	0	0	0	0	0
14	金澤 愛夏	DNP	0	0	0	0	0
15	栗林 未和	×	8	0	4	0	2
16	武田 彩乃	DNP	0	0	0	0	0
17	藤原 遥香	/	0	0	0	0	1
18	宗形 真季	DNP	0	0	0	0	0
監督	高橋 和也						0
コーチ	仁部 さおり						0
合計			41	8	7	3	16

Team B	高見						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	森尾 菜々美	DNP	0	0	0	0	0
5	木本 珠那	/	3	1	0	0	0
6	扇山 春菜	DNP	0	0	0	0	0
7	田中 碧	DNP	0	0	0	0	0
8	西村 美紀	DNP	0	0	0	0	0
9	藤原 知香	DNP	0	0	0	0	0
10	二ノ宮 可南	×	6	0	3	0	2
11	脇 梨奈乃	×	17	0	7	3	1
12	梶原 志保	DNP	0	0	0	0	0
13	今瀬 まやの	DNP	0	0	0	0	0
14	永野 倫后	×	10	0	3	4	5
15	栗原 颯生	×	12	4	0	0	2
16	松本 彩花	DNP	0	0	0	0	0
17	樺島 ほたる	/	5	1	1	0	1
18	四宮 萌夏	DNP	0	0	0	0	0
監督	弥永 清美						0
コーチ	吉田 ひろみ						0
合計			53	6	14	7	11

【戦評】

北海道ブロック1位の清田(予選リーグN2位)と九州ブロック2位の高見(予選リーグJ1位)の対戦。両チーム、Defはハーフマンツースでスタート。清田は#15のインサイドを狙いながら3Pで得点していく。高見は#14のドライブ、#10のインサイドを中心にオフェンスを組み立てる。清田#15のゴール下で連続得点するも高見#17が3Pを決め清田13-15高見で1Q終了。2Q、両チーム気迫のこもったDefで相手に得点を許さず3分間ノーゴール。高見#14のミドルが決まると、清田は#10のアシストで#15が得点する。清田は#10のドライブでファウルをもらいフリースローで加点する。高見は#10がインサイドで得点、#15の3Pがブザーと同時に決まり清田21-22高見で前半終了。3Q、高見#14が果敢にドライブするも決めきれない。対する清田も#15につなぐがDefに阻まれシュートを決められない。高見#15の3P、#11で差を広げる。高見#17の速攻が決まったところでたまたま清田がタイムアウト。清田21-29高見。残り4分清田#11のシュートがやっと決まり追撃開始。#10の3P、#4のミドルで食らいついていく。高見は#11のバスケットカウントで加点し清田30-36高見で3Q終了。4Q、清田は高見#14へのプレッシャーを強めボールを持たせないようにするが、高見はインサイドにパスをつなぎながらリズムを作り得点を重ねる。残り5分、高見#14がファウルアウトするも交代した#5が3Pを決め突き放す。残り4分、清田タイムアウト。その後、清田#9の3Pで4Q初めて得点すると#9、#10の連続3Pで7点差とするが、高見#10が3Pを決め返し10点差に戻す。清田39-49高見。清田はオールコート2-2-1Defでボールを奪いに行くが、高見は落ち着いてボールキープし、41-53で高見が準々決勝進出を決めた。

【戦評記入者】

浜田 雄史